

～がっちり！ しっかり！ 長期的で安定的な運営組織づくり～

ほんごう放課後子ども教室 【三原市】

教室の概要

- 教室目標 楽しく元気に
- 教室開設の経緯

100人近い子どもの活動を支えているのは地域のスタッフ。開設当時、『長期的で安定的なスタッフ確保のできる組織づくりを…』をとの思いで、地域の諸団体に放課後子ども教室の趣旨を御理解いただき組織として賛同を得た。具体的運営の検討とスタッフ確保の取組は、現在定着してきている。この『運営組織』こどが、ほんごう子ども教室の運営を支え、活動を可能にしているのだと自負している。平成24年度は登録児童が117人となり、開催場所（使用教室）も4教室となった。子どもたちの要望をかなえながら、事故なく、しかもスムーズに運営するための知恵を運営委員会での出し合い、今日に至っている。

【開始年度】平成20年度

【開催場所】三原市立本郷小学校
多目的ルーム、図書室、日本語教室、相談室
運動場、体育館（雨天時）、家庭科室（随時）

【スタッフ人数】42人

【コーディネーター人数】1人

【ボランティア人数】数名

（本郷地区社会福祉協議会給食ボランティア）

【開催日・開催時間】毎週水曜日 14:45～17:45

【年間開催日数】29日

【参加学年・平均参加人数】小学校1～6年生 90人

活動内容

- 年間開催日（平成24年度（29日開催））※空白は、常時活動のみ実施。

	5月	6月	7月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
第1週		おやつ	お楽しみ会				おやつ			お楽しみ会
第2週	開始			おやつ			おやつ			
第3週										
第4週				ワクワク学び隊	チャンゴ演奏会					
第5週										

- 常時活動の内容

- 1 始まりの会…全員集合して6年生の司会で行う。←《ほんごう放課後子ども教室の特色》
毎回、当日の活動内容の確認・スタッフ自己紹介・コーディネーターの話・声に出して覚えたい言葉（名文・ことわざ）などを行う。
- 2 学習（宿題）
- 3 自由遊び（室内・運動場）

- 特別活動の内容

- 1 おやつの日 ○ 本郷地区社会福祉協議会給食ボランティアさんによる伝統食・郷土料理（平成24年度は、6月6日「草もち」、9月19日「コロッケ」）
○ 保護者スタッフさんによる児童参加のおやつづくり（平成24年度は、12月5日と12日「ホットケーキ」）
- 2 お楽しみ会 7月「1年生を迎える会」…ゲーム大会
3月「6年生ありがとう会」…リーダーである6年生に手作りプレゼントを贈る。
- 3 ワクワク学び隊 1年に1度、派遣の要請している（平成24年度9月26日「おのぶん」の皆さん）。
- 4 教室にお茶が用意される日 6月6日～9月26日（給食ボランティアによって準備）
- 5 創作活動（平成25年度予定） 児童からの要望により学年ごとで行う創作活動を検討中。

- 日程（3時間の活動）

- 14:45～15:20 受付・室内遊び（自由遊び）
- 15:20～15:40 全員集合しての始まりの会
- 15:40～17:20 学習・自由遊び・集団遊び（運動場・室内）
- 17:20～17:45 集合・人数確認・片付け・帰宅（迎え）

運営上の工夫

ほんごう放課後子ども教室の大きな特徴は、町内の諸団体が組織として賛同し、代表者が運営委員会のメンバーとなり、具体的運営について検討しスタッフ確保に努めていることである。

【運営組織づくり】

運営委員会メンバー	スタッフ人数	担当週
本郷地区社会福祉協議会代表	5	第3週
民生児童委員代表	7	第2・5週
女性会代表	4	第4・5週
老人会代表（3団体の各代表）	11	第1・3・4週
保護者代表	10	第1週
PTA会長（副会長）		
学校長・教頭		
コーディネーター		

《具体的取組と利点》

- ・担当する週に諸団体からスタッフを割り当てる。
- ・担当日に不都合が生じた場合は団体内でスタッフの交代を行う。
- ・団体代表の交代があった場合、新代表が運営委員会のメンバーになる（引継ぎは組織内で）。
- ・年度末に団体内のスタッフの継続確認を諸団体内で行い、必要なら補充して新年度に備える。

【会議回数】

運営委員会…年2回 スタッフ会議…定期（年1回年度初め）特別活動時（年5回程度）

【活動日のスタッフの動き】

現在、117人の児童が登録しており、常時80～90人の児童が参加している。活動の教室を4教室使用しているが、そのうちの1教室が別棟にあり、さらに1・2階と分かれているため、活動の充実と安全確保の面から毎回8人のスタッフで当たっている。多くのスタッフに当日の自分の動きを把握してもらうために下のようなプリントで担当学年・活動場所・日程などを毎回確認している。

(実物をやや簡素化) ほんごう放課後子ども教室 ○月△日(水)の活動と担当表						
学年	1年	2年	3年	5年	4年	6年
児童数	19人	25人	16人	16人	30人	11人
教室担当スタッフ	1年生担当 (1人)		3年生担当 (1人)		4年生担当 (1人)	
外遊び担当スタッフ	(1人)	2年生担当 (1人)		5年生担当 (1人)	(1人)	6年生担当 (1人)
14:45～	多目的ルーム(受付・名札)		図書室(受付・名札) 3年 5年		高学年ルーム(受付・名札)	
15:15まで	多目的ルームで室内遊び			高学年ルームで室内遊び		
15:15～	多目的ルームに学級ごとに並ぶ			学級ごとに並んで多目的ルームに集合		
集合	始まりの会					
学習	多目的ルーム		図書室		高学年ルーム	相談室
学習後カバン置き場所	多目的ルームのロッカー		多目的 ルーム廊下	高学年ルームのロッカー		
自由遊び	運動場・多目的ルーム			運動場・多目的ルーム		
17:20～	多目的ルーム(人数確認・帰宅準備)			高学年ルーム(人数確認・帰宅準備)		
スタッフ解散 17:45	教室担当スタッフは戸締り・消灯などの確認。学年担当スタッフは名札・出席簿の返却をして帰宅。コーディネーターが最終点検をして終了。					

事業を実施して

- ・団体に呼びかけ組織づくりをしたことにより、この事業を町内の多数の人が認知することとなった。
- ・組織の母体が諸団体なので、運営が、しっかりしている。代表交代・スタッフ継続確認など年度替わりの事務処理がスムーズに進み安定した運営ができています。
- ・具体的運営について、組織からの意見やアイデアをいただけて活動が充実している。
- ・スタッフの活動と担当表の作成により、自分の活動が把握でき、安心して取り組めると好評である。